

＜建設業経理士1級（財務諸表）ミニテスト4＞原価の期間配分

①棚卸資産原価の期間配分のうち払出数量面において2種類の方法があるが、その名称を記し、それぞれの方法の適用形態について述べなさい

②正規の減価償却について述べなさい

＜解答＞

①

・継続記録法→入出庫とも継続的に記録し帳簿有高を把握することが可能であり、実地棚卸の際に棚卸減耗の把握が可能になるので、主要材料について行われることが多い。

・棚卸計算法→入庫については継続的に記録するが、出庫は記帳せずに実地棚卸高から逆算し出庫数を推定する方法である。棚卸減耗を区分することは不可能であるので、主要材料以外の材料に適用されるケースが多い。

②一定の償却方法により每期規則的に行われる減価償却のことである。
これにより、利益操作を排除し適正な期間損益計算を実現することが可能になる。